

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (2 単位)		3. 科目番号	SSMP2155 SNMP2355 SCMP2155 SBMP2155 SPMP2155 PSMP2455
2. 授業担当教員	佐藤 惟			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法) について理解した上で、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方 (原理・理念) を学び、現代に至るまでのソーシャルワークの歴史的な形成過程について学ぶ。</p> <p>さらに、社会福祉士、精神保健福祉士、ソーシャルワーカーそれぞれの倫理綱領を読み解き、ソーシャルワークの価値規範と倫理について考究を行う。</p>			
8. 学習目標	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	<p>授業内で提示する3つのテーマの中から1つを選んでレポートを作成してもらう。</p> <p>このほか、授業期間中に実施する3回の確認テスト (筆記試験) に取り組んでもらう。</p>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版, 2021 年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。</p> <p>2. 筆記試験とレポート試験を行う。60%</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>2. ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>3. ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>4. ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>「ソーシャルワークの基盤と専門職」はこれから社会福祉士や精神保健福祉士になるために必要な理論習得の基礎となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・作業、レポート作成等への積極的な取り組みを望みます。授業の進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。</p>			
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) に通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション (シラバス、講義概要、成績評価についてなど)	事前学習	社会福祉士と精神保健福祉士の仕事内容や実践現場について調べる。	
		事後学習	オリエンテーションの内容をまとめる。	
第 2 回	ソーシャルワーク専門職の法的な位置づけ (1) 社会福祉士について	事前学習	教科書 pp. 2-14 を読む。	
		事後学習	社会福祉士の法的な位置づけについて復習する。	
第 3 回	ソーシャルワーク専門職の法的な位置づけ (2) 精神保健福祉士について	事前学習	教科書 pp. 15-22 を読む。	
		事後学習	精神保健福祉士の法的な位置づけについて復習する。	
第 4 回	ソーシャルワーク専門職の法的な位置づけ (3) 専門性とコンピテンシー; 確認テスト①	事前学習	教科書 pp. 23-50 を読む。	
		事後学習	専門性とコンピテンシーについて復習し、確認テスト①を期限内に提出する。	
第 5 回	ソーシャルワークの概念 (1) 定義	事前学習	教科書 pp. 52-67 を読む。	
		事後学習	ソーシャルワークの定義について復習する。	
第 6 回	ソーシャルワークの概念 (2) 構成要素	事前学習	教科書 pp. 68-83 を読む。	
		事後学習	ニーズと社会資源について復習する。	
第 7 回	ソーシャルワークの基盤となる考え方 (1) 原理 (社会正義、人権、集团的責任、多様性尊重)	事前学習	教科書 pp. 86-102 を読む。	
		事後学習	ソーシャルワークの原理について復習する。	
第 8 回	ソーシャルワークの基盤となる考え方 (2) 理念 1 (当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援)	事前学習	教科書 pp. 103-111 を読む。	
		事後学習	自立支援の考え方について復習する。	
第 9 回	ソーシャルワークの基盤となる考え方 (2) 理念 2 (エンパワメント、ノーマライゼーション、社会的包摂)	事前学習	教科書 pp. 111-118 を読む。	
		事後学習	ソーシャルワークの理念について復習し、	

	; 確認テスト②		確認テスト②を期限内に提出する。
第10回	ソーシャルワークの形成過程(1) ソーシャルワークの源流、基礎確立期	事前学習	教科書 pp. 120-131 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークの源流および基礎確立期について復習する。
第11回	ソーシャルワークの形成過程(2) ソーシャルワークの発展期、展開期と統合化	事前学習	教科書 pp. 132-156 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークの発展期および展開期について復習する。
第12回	ソーシャルワークの形成過程(3) 日本におけるソーシャルワークの形成過程	事前学習	教科書 pp. 157-170 を読む。
		事後学習	日本のソーシャルワークの形成過程を復習する。
第13回	ソーシャルワークの倫理(1) 倫理の概念、倫理綱領	事前学習	教科書 pp. 172-191 を読む。
		事後学習	ソーシャルワーカーの倫理綱領を復習する。
第14回	ソーシャルワークの倫理(2) 倫理的ジレンマ ; 確認テスト③	事前学習	教科書 pp. 192-203 を読む。
		事後学習	倫理的ジレンマについて復習し、確認テスト③を期限内に提出する。
第15回	まとめ; レポート提出に関する説明	事前学習	レポート作成に必要な資料を集める。
		事後学習	レポートを作成して期限内に提出する。